

# 庄原へ

shobara U[YOU]-Turn. guide

city.shobara.hiroshima.jp

# 帰る。



広島県  
庄原市



初めて行ったイベント  
「クリスマスパーティー」の様子。  
約100人の若者が集まりました！



わたしも  
メンバーです

実行委員会メンバー。  
楽しくやっています♪



# 若者異業種 交流会



若者世代のつながりをつくり、まちづくりに関わることにつなげてもらう場として、若者異業種交流会に取り組んでいます。

市内の企業や市役所のバックアップを得て、庄原で働く若者が集まり実行委員会を結成。皆でアイデアを出し合いながら、若者にとって、庄原がもっと楽しいまちになるような交流の場づくりを進めています。

庄原に帰ってくる人大歓迎！会の参加者も、実行委員の新しい仲間も大募集中です！

# 「ふるさと回帰」

「いきがい」「やすらぎ」「ゆとり」を求めて、若者の地方回帰が少しずつ、少しずつ、はじまっています。

そんな、庄原に帰って、今を楽しく過ごしている皆さんを紹介します。



田舎だからって不利なことは  
全然ないですね  
自ら何かを求める人には  
田舎暮らしが合っていると思います

Case 2. 美容師

name	age	home town
朽木 章浩	29	庄原市東城町



◆**Uターンの経緯**  
美容師として東京で7年間、福山市で2年間経験を積んだのち、地元東城町での独立開業を志して平成24年の7月に帰ってきました。久しぶりの田舎生活でいるいる不安はありませんが、新鮮で安全な野菜を使った料理や、周りで支えてくれる友人や家族、美容院に通ってくださるお客様ののおかげで抱えていた不安もなくなりました。都会暮らしで感じていたストレスもここにはなく、今では住みやすい東城の町を満喫しています。

◆**地元で働き、地元で暮らすこと**  
美容師の職は流行から遅れることが許されない業種です。けれども田舎にいるからといって不利になるとは全く思いません。今はヘアデザイナーなどの情報もインターネットで見ることができ、来てくださるお客様により良いサービスを提供していきたいという気持ちで常々持ち、この仕事を続けていきたいです。  
休日はロードバイクに乗って、サイクリングを楽しんでいます。東城町から世羅町に続くコースは特に気に入っています。3時間くらいかかるんですけど、途中にあるカフェに立ち寄りたり、大自然の景色を眺めながら疾走したりするのはとても気持ちいいです。  
◆**地元が好きだからこそ楽しい**  
自分は今後も地元に着用をもち、東城での暮らしをもっと楽しめるようにしていきたいという想いをもっているの、自然と住みやすさを感じているんだと思います。  
田舎暮らしは、与えられることで満足する人には不向きかもしれませんが、逆に自ら何かを求める人には田舎暮らしが合っていると思います。



当たり前になっていた環境が、  
実はそうじゃないことに  
気づきました

Case 1. 看護師

name	age	home town
石原 恵美	24	庄原市比和町



◆**Uターンの経緯**  
実家を離れて暮らしたのは中学校卒業後です。自分の世界観を広げたいということ、自立した生活を送りたいという思いから、東広島市にある高校を選び、その後は看護師を目指して呉の大学へ進学しました。  
就職先を考えたとき、お世話になった地域の人へ恩返しをしたいという思いから、地元の病院を選び、都会みたいにならないうちに環境にある実家に帰ることにしました。

◆**多くの方とのつながりが実感できる働き方**  
看護の仕事は仲間とのチーム力や、緊迫した状況での対応力、強い精神力などいるんことが要求されます。高度な医療技術はもちろんな大事なんですけど、それ以上に患者さんとの信頼関係づくりを大切にしたいと思って日々の仕事に励んでいます。  
日頃から心がけていることは、患者さんが安心して治療に専念できる環境をつくることです。その甲斐もあって、患者さんのほうから話しかけてくださることや、比和町をよく知る患者さんと地元トークができることが増えました。そうやってできた多くの方との繋がりが実感できることが、この仕事のやりがいです。  
◆**変わっていない安心感**  
おろからで優しい雰囲気があること、ちの自然が大好きです。  
ほとんどの景色が小さい頃に見ていたときのまんま。  
そこが比和のいいところで、変わっていないことが安心感やふるさとへの愛着に繋がっているんだと思います。都会のように次々にビルが建てられていたら、そこが自分の故郷なんだって実感が湧きにくいと思うんですよ。  
前まで当たり前になっていた環境が、実はそうじゃないことに気づきました。



信頼できる親がいて、  
安心感のある地元が  
やっぱりいいなあと思って  
庄原に帰ってきました

Case 4. 保育士

name	age	home town
松島 多栄	36	庄原市川北町



◆Uターンの経緯

庄原に帰ってきたのは、22歳の時です。短大を卒業してすぐは、田舎に帰るよりも街で働きたいなという思いから2年間広島市の私立保育所で働きました。  
そこでは人間関係の厳しさや、親しい人が少ないなど、不安を感じることも多くありました。  
中学生の頃からなりたいと思っていた保育士の仕事を続けるには、信頼できる親がいて、安心感のある地元がやっぱりいいなあと思って庄原に帰ってきました。

◆温かい地元の人たち

こっちに帰って気づいたのは、人間関係や仕事は結局どこに行っても大変なことです。  
けどそう思ったのと同時に、街よりも地元のほうが、人が優しく温かいと素直に思いました。  
たくさん先輩の先生が親身になってアドバイスしてくれたり、私の子どもが小さい時には親がよく面倒をみてくれたりしました。  
身近に心優しい人がいてくれるのとても励みになります。  
この思いに共感し、1人でも多くの人に庄原で暮らしたいなあと思ってもらえれば嬉しいです。



よそ  
他所で長い間  
探し求めていたことを、  
故郷で見つけることが  
できました

Case 3. 英語講師

name	age	home town
広沢 麻子	39	庄原市東本町



◆Uターンの経緯

庄原を離れたのは高校からです。福山の高校を卒業後、アメリカの大学に進学し、卒業後は外資系企業数社で勤務しました。  
たくさんの人と出会い、人生と仕事の経験を積む中で、独立して事業を起こしたいと思うようになりました。  
その際に、家族とも長く離れていたら、都会でしかできないと思われることを田舎でチャレンジしたくて、約20年ぶりに庄原に戻ってきました。

◆予想していなかった庄原での暮らし

こちらに帰ってから、畑作りや地域の人との「ふれあい」が、なによりも楽しいという予想外のことがありました。  
「土地が良くなると、環境が良くなり、地域に住む人も良い方向に変わる」という内容の本を読んだことがきっかけで畑を始め、そのおかげで地域のお年寄りの方から農業のノウハウを教わったり、地域の昔話を聞かせてもらったりという楽しい朝の時間ができました。  
午後からは英語の講師をし、子どもたちの「ふれあい」の時間があります。  
帰郷する前は生活や成功のための仕事として働いていましたが、今は悠々自適に過ごせる環境のおかげで、教えることを純粋に楽しめています。

◆庄原で見つける大切なこと

都会では成功やお金という画一的な物事に気持ちが偏りがちですが、それは違う生活の豊かさが田舎にはありました。私自身、故郷を離れて他所でいる経験したからこそ新たな発見があったのだと思います。  
皆さんも庄原に戻ってから、大切な何かを見つけてもらえたらと思います。

◆大好きな子どもたちの毎日

保育士という仕事のやりがいは、なんと言っても日々成長する子どもとのすくそばにいられることです。  
子どもたちが心から笑ったり、外で遊んだり、お昼寝したり...それを見守る毎日ですが、でも1人1人に少しずつ変化があつて、毎日勉強させられています。  
子どもが大好きな私にとっては、たくさんの子どもの成長を肌で感じられる環境にいられることが本当に嬉しいです。

